

社会科学研究委員会 公開研究授業

平成18年11月15日

日野小学校4年竹組

授業者 藤澤隆之 教諭

(1) 本時の主眼

学習問題「どのようにして沼目の人は30年近く水をきれいにして飲み水にも使われるようにしてたのか」について予想を話し合い、当時の沼目用水の様子を知る坪井さんにインタビューする活動を通して、沼目の人々が沼目用水にかけた「いつまでもきれいな水を沼目のみんなで使えるようにしたい」という思いを知り、当時の人々の心情に思いを寄せることができる。

(2) 授業の様子

学習問題について話し合った。

A 掃除をする B 薬を使って水をきれいにする

C ポンプや機械を使って水をきれいにする

D 汚い水を流した後のきれいな水を使う

E 「くみど」で水をきれいにする

F 雨水が用水にはいらないようにする

G 使った水は用水に流さないようにする

上記の自分の予想について、生活経験や既習単元

の学習から得た事実を根拠に話し合った。そして、そして予想についての吟味をして、自分の予想の変化について確かめた。検証の方法を当時の様子を知る地域の歴史家の坪井さんに聞いてみようという追究の見通しを持った。



坪井さんに予想について尋ね、当時の水の利用の様子を聞いた。

自分の予想について坪井さんのお話を聞いて思ったことを、学習カードに記入した。

(3) 講師の先生のご指導から



授業研究会では、中心講師の田中統治先生から多くのご指導をいただいた。その中で「カリキュラム」に関わって、

一学期の「水はどこから」の次に今回の「沼目用水」を扱うようにすると、子どもの意識に沿い、子どものニーズにこたえることにつながる。カリキュラムマネジメントとして、授業をやってみえてきたことをいかして、来年度のカリキュラム改良につなげて欲しい。「水」という題材はどこの学校にもあ

るはず。学びの質を高めるために上高井郡としてカリキュラムの中にそのことを位置づけていくことが大切である。

とご指導をいただいた。